

歩くしきけアイデア

2018年12月25日

近藤 敬子

施策タイトル

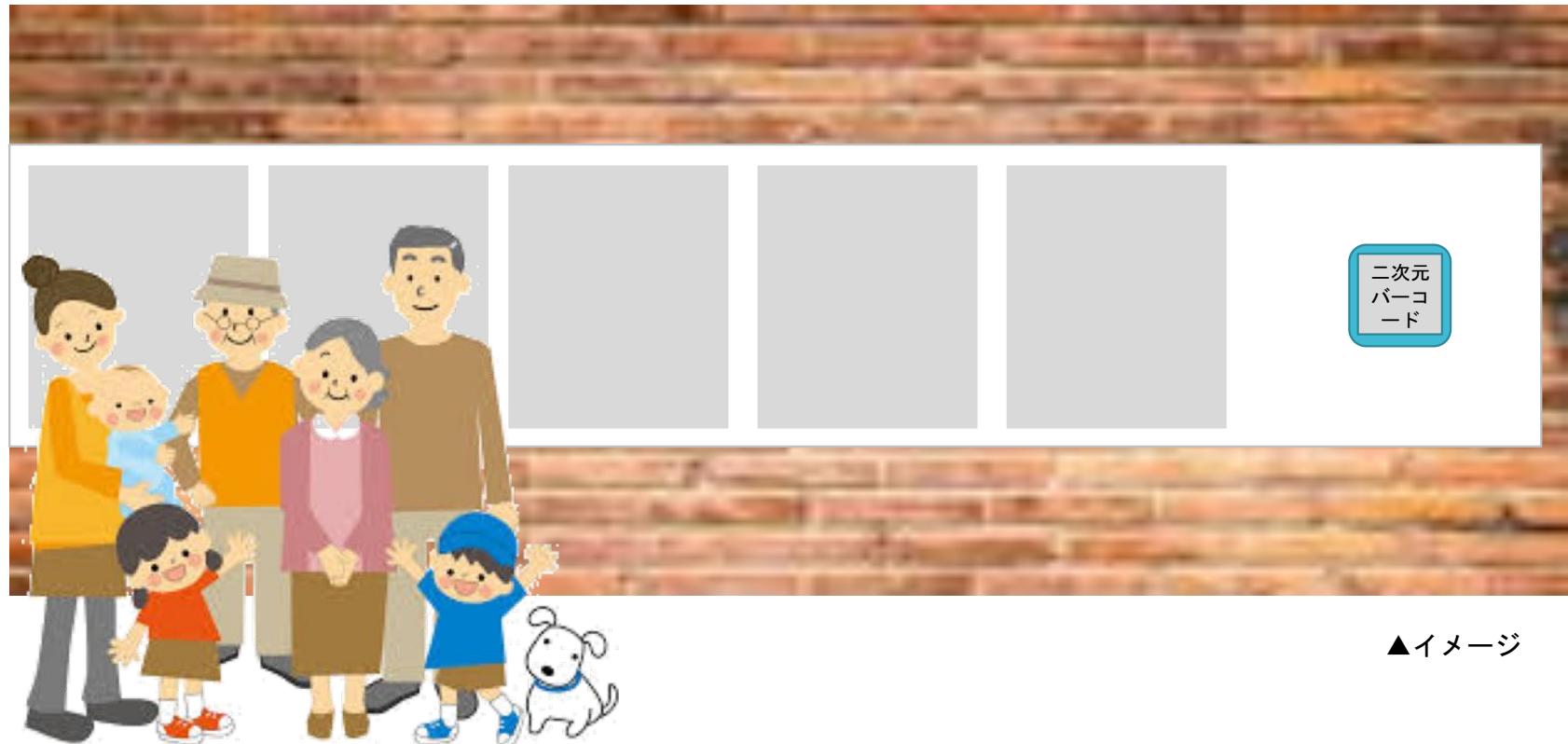
日本一？なが～いマンガを
読んでいるうちに
ついつい歩いてしまう県

概要

- ・駅やショッピングモール、公園、観光地など、県内の要所に、長さ100mほどの巨大な漫画を設置。
- ・佐賀県出身の漫画家に依頼し、佐賀県にまつわる漫画を描いていただく。
- ・作品の最後に二次元コードを設置し、読み取ると特設サイトにアクセスし、スタンプが貯まるようとする。
- ・一定のスタンプが貯まった人には、佐賀県の名産品等がもらえるようとする。

ポイント

- ・歩けば歩くほど続きを読む事ができる
- ・絵を交えた漫画であれば、老若男女が興味を持ちやすい
- ・佐賀県に所縁がある作者が佐賀に関する内容を描く事で、県民に自分ごととして捉えてもらい、より関心を持ってもらう
- ・「連載が長い」という漫画は多数あるが、「物理的に長い」というものは前例がないため、県のPR戦略として効果が期待できる



▲イメージ

その他

【材質】

- ・掲示する漫画を描く材質は、設置場所に応じて変動
- ・屋内の場合、コーティング紙など
- ・屋外の場合、木やプラスチックなど防水性のあるものに転写

【プロモーション案】

- ・県の広報
- ・インターネット（ウェブサイト・プレスリリース）
- ・SNSでの情報拡散

【中長期プラン】

定期的に更新する事で、興味を持ってもらい続ける

- ・日本一なが～いエッセイ
(漫画と同じく佐賀県出身の作家に文章を書いてもらい、掲出)
- ・県民から作品を募集し、優秀作品を掲出